

「活き活きフォーラム IN 大崎上島」の概要

1. 開催日時：平成 29 年 12 月 12 日（火）13:00～16:00
2. 開催場所：大崎上島文化センター 多目的ホール「神峰」
(広島県豊田郡大崎上島町中野 2067-5)
3. 主催：独立行政法人 国立高等専門学校機構 広島商船高等専門学校
共催：CIFER - 広島サイト
後援：大崎上島町
4. 参加人数：121 人
5. プログラム：
 - (1) 挨拶
 - ① 広島商船高等専門学校長 辻 啓介
 - ② 大崎上島町長 高田 幸典
 - (2) 基調講演
 - ① 広島県漁業の現状と課題 広島県農林水産局水産課参事 横内 昭一
 - ② 海の再生と活性化 広島工業大学客員教授（CIFER・コア理事長） 上嶋 英機
 - (3) 海域環境改善事業の紹介と情報交換サロン
 - ① 海洋環境事例の紹介 CIFER・コア
 - ② パネル展示と情報交換 関係企業
 - (4) パネルディスカッション
【コーディネーター】 上嶋 英機
【パネリスト】
 - ① 横山 隆司 CIFER・コア理事
「海域環境改善の事例」
 - ② 田中 丈裕 NPO 法人 里海づくり研究会議業務執行理事
「里海づくりと漁業の再生」
 - ③ 濱中 国雄 大崎上島水産振興協議会会長
「大崎上島周辺の漁業環境の課題と漁業生産向上のための展望」
 - ④ 岩井 克己 環境省・環境技術実証事業 実証機関 日本ミクニヤ株式会社専務取締役
「海域環境修復技術の効果検証と適正技術のパッケージ化による試行実験」
 - ⑤ 横内 昭一 広島県農林水産局水産課参事



(1) ご挨拶



広島商船高等専門学校長 辻 啓介氏



大崎上島町長・高田 幸典氏

フォーラム冒頭のご挨拶は、主催者である広島商船高等専門学校長・辻啓介氏と大崎上島町長・高田幸典氏が行いました。辻校長は、瀬戸内海の魚の漁獲量は減少していることを踏まえ、地域と漁業者の共存共栄を考えることの必要性や沈みつつある漁業を大崎上島から今一度盛り上げたいという思いを述べられました。

高田町長は、大崎上島町の紹介を行った上で、海の環境を生かした町づくり、地方再生を進めたい等と述べられました。

(2) 基調講演

①「広島県漁業の現状と課題」広島県農林水産局水産課参事 横内 昭一氏

横内参事は、「広島県漁業の現状と課題」と題して、広島県内の水産業の特徴、漁業の現状と課題について講演されました。

瀬戸内海における広島県漁業の各県との比較、魚種別生産額について述べられ、広島県漁業の特徴としてカキ養殖、カタクチイワシの現状と課題の説明がありました。また、海面漁船漁業や漁業経営体の推移の説明があり、最後に、広島県の取り組みとして、稚魚放流、漁場造成のためのアマモ場、ガラモ場等の造成、育成水面の管理等、漁業者が中心となった資源管理の推進を立体的に進めていくとして締めくくられました。



②「海の再生と活性化」広島工業大学客員教授（CIFER・コア理事長）

上嶋 英機

上嶋教授は、「海の再生と活性化」と題して、広島湾と中心とする海域環境保全の取り組みや今後の方向性について講演しました。

瀬戸内海の半世紀にわたる環境変化、「瀬戸内海環境保全特別措置法」の改正目的の後、広島県島嶼部の人口変動、瀬戸内海の漁業生産量の推移等の説明を行い、平成29年度に始まった広島湾再生行動計画第2期からは官民連携組織で計画を進めることになったと説明しました。

また、大崎上島町の漁業の現況、水産庁の政策、全国各地で展開されている漁場再生事例、海域環境修復技術等の説明があり、「CIFER・コア広島サイト」を結成したことの報告がありました。



(3) 海洋環境改善事業の紹介と情報交換サロン

場 所：大崎上島文化センター2階ホワイエ
内 容：CIFER・コアによる海洋環境事例の紹介
企業によるパネル展示
参加者による情報交換

パネル展示参加企業（12社）

- ・中国電力株式会社
- ・日新製鋼株式会社
- ・粕谷製網株式会社
- ・株式会社横河住金ブリッジ
- ・太平洋セメント株式会社
- ・株式会社東京久栄
- ・JFE スチール株式会社
- ・五洋建設株式会社
- ・共和コンクリート工業株式会社
- ・海洋建設株式会社
- ・リマテックR&D株式会社
- ・日本ミクニヤ株式会社



(4) パネルディスカッション

【コーディネーター】

上嶋 英機 広島工業大学客員教授（CIFER・コア理事長）

【パネリスト】

横山 隆司 CIFER・コア理事

田中 丈裕 NPO 法人 里海づくり研究会議業務執行理事

濱中 国雄 大崎上島水産振興協議会会長

岩井 克巳 日本ミクニヤ株式会社専務取締役

横内 昭一 広島県農林水産局水産課参事



横山 隆司
CIFER・コア理事



田中 丈裕
NPO 法人里海づくり研究会
議業務執行理事



濱中 国雄
大崎上島
水産振興協議会会長



岩井 克巳
日本ミクニヤ株式会社
専務取締役

最初に、次の4名のパネリストから、それぞれの取り組み等を紹介する話題提供がありました。

横山理事 「海域環境改善の事例」

田中理事 「里海づくりと漁業の再生」

濱中会長 「大崎上島周辺の漁業環境の課題と漁業生産向上のための展望」

岩井専務取締役 「海域環境修復技術の効果検証と適正技術のパッケージ化による試行実験」

その後、コーディネーターの上嶋教授の進行により、大崎上島町の漁業再生を考え、漁業再生と地域活性化を進める上で、多様な環境再生技術の活用方策、新しい漁場のあり方をテーマにパネリスト間で意見交換が行われました。

漁港の柔軟な有効利用策や魚を増やす取り組みの推進、海の主役である漁業従事者が減少していく中での若手増加の可能性、地域と連携して人を呼び込む新しい漁業形態のあり方、漁場再生や生産性向上のための環境再生技術の現状や各種技術の組み合わせによる効果、企業の関与方策等についてパネリストから意見が述べられ、会場で聞いていた参加者からも意見や質問がありました。

